



スマホで施工管理をしてみませんか？ 施工情報システム

代表的な秋の味覚のひとつに栗があります。近頃はコンビニスイーツやコーヒーストックでも季節限定でよく見かけますね。

栗は果物に分類されるのをご存じですか？秋に実が成熟するとイガが自然に割れて、中から堅い殻に覆われた果実が現れます。堅い方を鬼皮、その下の薄い方を渋皮と呼んでいます。

しかし、実はその「皮」だと思っていたところが「果実」なのです。では、あの食べている「実」は？というと、あれは「種子」になります。

栗は実を捨てて種子を食べているのです。イガは皮になります。とても面白い食べ物ですね。

DUCTILE TIMES編集部

クボタのIoT技術 スマート水道工事システム

弊社ではIoTを活用し、現場の工事監理の維持・向上と配管工事のスピードアップを目指した「スマート水道工事システム」の開発・提供をおこなっています。

今回紹介する施工情報システムに加えてサイトコネクタ・モニタリングシステム等もラインアップしております。

※「スマート水道工事システム」はクボタの登録商標です。

施工情報システムは、水道工事現場での施工管理をIoT技術を活用し、効率化するシステムです。

本システムは、一般的に普及しているスマートフォンを使用して、専用のアプリケーションに配管材料等の情報とチェックシートに基づいた管の接合状況を入力することで、



接合チェックシートや工事日報等の施工管理書類が自動で作成されます。作成された施工管理書類はクラウドサーバーに追加・更新されるため、インターネットにつながる環境であれば、どこからでも書類の閲覧、取出しをすることが可能です。

2021年度のサービス開始を予定していますが、今年度は専用アプリケーションをインストールしたスマートフォン（iPhone）を貸出ししてお試しいただける取り組みも行っています。ご興味ございましたら、是非お気軽に各営業担当までご連絡ください。

今なら！端末をお試しいただけます



講習会レポート

From 堺市上下水道局 様 オンラインによる 施工情報システム説明会

大阪府堺市では「ICTイノベーション推進室」が設置されるなど、全庁挙げてICT導入に取り組まれています。コロナ禍で3密回避が求められる中、去る6月17日に弊社が開発を進めている「水道スマート工事システム」及びその先駆けとなる「施工情報システム」の説明会をオンライン方式で開催致しました。操作性を体感していただけるよう実機を事前に送付するなどの工夫を凝らした結果、同局のご担当者様からは「今回のプレゼンはまさしく業務でのICT活用を進める私たちのテーマに合致した機会でした。施工情報システムは施工管理や工事監理の効率化が図れると思いま



〈オンライン説明会の様子〉

すので、御社の今後のビジネス展開に期待しています。」との声を頂きました。

オンラインでの説明会にご興味ございましたらお気軽に各営業担当までお問い合わせください。

施工情報システムをご利用された 工事業者様のお声

**福島県
郡山市
株ムツミ様**

郡山市上下水道局様のご理解のうえで、タブレット版を昨年試験的に導入し、今年度は受注工事のうちGX形φ300の工事でスマホ版を試行しております。手順に沿って情報を入力していくことで接合時の確認ミスも防げ、

工事品質の安定に役立っています。また施工現場で入力した配管情報は、事務職員がリアルタイムで確認し書類を作成することができるため、事務作業の時間が有効に使えています。弊社では少ない人数で効率的に工事をこなしていくため、電子黒板の導入など業務のIT化に取り組んでおりますが、施工情報システムにつきましても現場での意見を御社と積極的に議論させていただき、さらなる品質の向上に期待しております。

(福島県郡山市

株式会社ムツミ 大森様)

